

コープ・ノース2019
パートナーシップ、攻撃力、相互運用性の向上を図る
COPE North 2019 strengthens partnerships, sharpens lethality, improves interoperability

February 15, 2019

By Gunnery Sgt. Derek Carlson

[ハワイ] パールハーバー・ヒッカム統合基地発—

2019年2月18日から3月8日まで、アメリカ軍、自衛隊、オーストラリア空軍はグアムのアンダーセン空軍基地で行われるコープ・ノース2019に参加する。

長年行われているこの演習は、米国の空軍・海軍・海兵隊と航空自衛隊およびオーストラリア空軍との間の多国間航空作戦力を強化することを目的としている。

演習には、米国の空兵、海兵、海兵隊員が2,000人以上、航空自衛隊とオーストラリア空軍の隊員およそ850人が訓練に参加し、さらに、米軍、自衛隊、オーストラリア空軍から21の飛行部隊の航空機およそ100機が参加する。

この演習は、一週間の人道支援と災害救援訓練から始まり、次の段階としてより大規模な軍の導入が必要な設定で、同盟国間の即応力を強化する目的で行われる。これらの人道支援と災害救援の演習は、パラオやミクロネシア連邦を含む地域を支援する際に必要な米国と同盟国の能力を高める重要な機会を提供する。

コープ・ノースは、1978年に三沢基地を拠点に四半期に一度の二国間演習として始まり、1999年に拠点をグアムに移した。今日、毎年恒例に行われている同演習は、地域の軍が重要な即応技術と相互運用性の強化を図りながら、インド太平洋地域の安定と安全を促進する機会となっている。